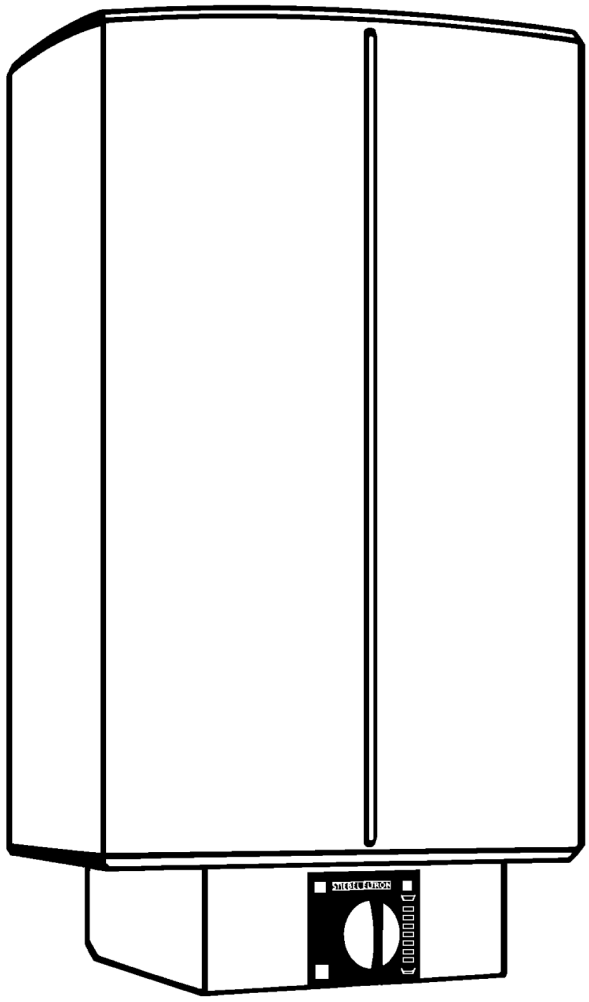
STIEBEL ELTRON

電気温水器

取扱説明書

（取付説明書、保証書付）



型　名……
- ●SH-30S
- ●SH-50S
- ●SH-80S
- ●SH-100S
- ●SH-120S
- ●SH-150S

［目　次］

1 必ずお守りください……1
2 各部の名前……2
3 運転のしかた……3,4
4 点検とお手入れ……5
5 故障かな？と思ったら……5
6 点検および修理について……6
7 アノード棒の交換について…7
8 仕様……9

- ●正しく安全にお使いいただくため、ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みください。そのあと大切に保管し、必要なときお読みください。
- ●保証書は必ず所定の記載事項を確かめて、据付工事店（販売店）からお受け取りください。
- ●お客さまご自身では据付けないでください。安全や機能の確保ができません。
- ●試運転は据付工事店立ち合いのもとで行ってください。その際、安全を確保するための正しい使い方について、据付工事店から説明を受けてください。

日本スティーベル株式会社

1 必ずお守りください

●ご使用の前にこの欄を必ずお読みになり、正しく安全にお使いください。
●お読みになった後は、取付説明書とともにお使いになる方がいつでも見られる所に保管してください。
取付説明書も必ず据付工事店（販売店）から受け取ってください。

⚠ 警 告

誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷に結びつく可能性があります。

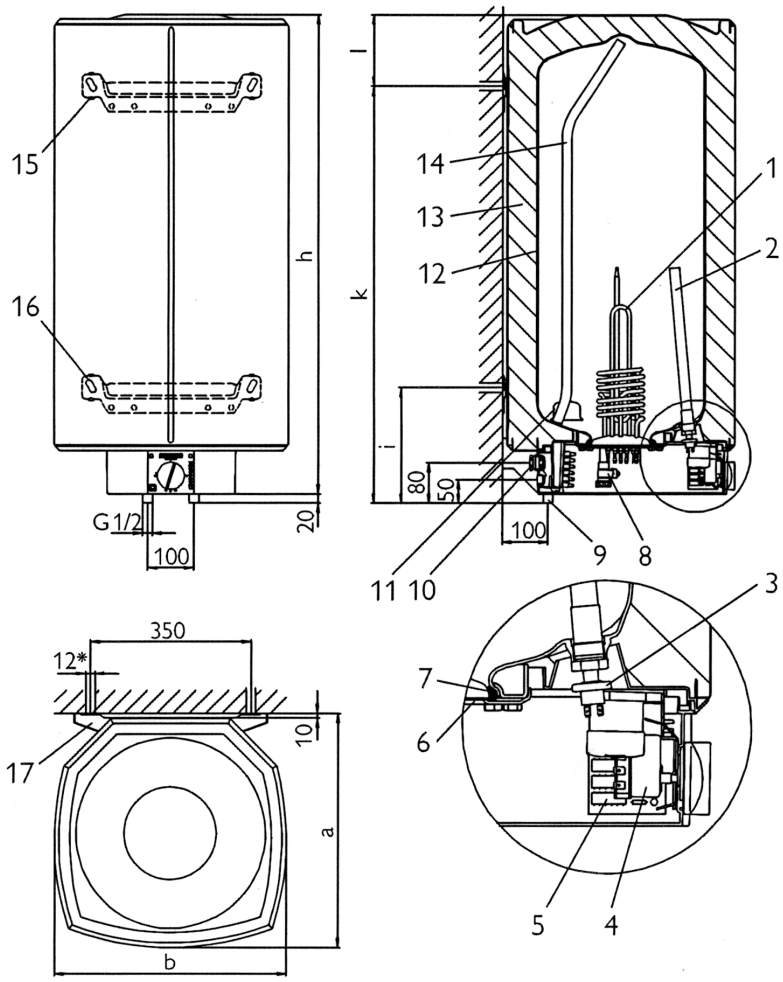
禁止	給湯時は蛇口に手を触れない。［やけどをすることがあります。］ 排水時ははお湯に手を触れない。［やけどをすることがあります。］ 機器本体に水をかけたり、水につけたりしない。［水をかけると、ショート・感電することがあります。］ 改造をしない。（修理技術者以外の人は分解･修理をしない） ［発火したり異常動作してけがをすることがあります。］ 近くにガス類や引火物を置かない。［発火・火災になることがあります。］ 屋外に設置しないでください。［感電や故障のの原因となります。］ 水質基準に適合した水道水以外は使用しないでください。 ［健康を害する､漏電､漏水､故障の原因となります。水道水に添加物を混ぜることも同様の危険があります。］ 濡れた手で機器を操作しないでください。［感電の恐れがあります。］
指示に従い必ず行う	アース工事を確認する。［工事に不備があると、故障や漏電のときに感電することがあります。］ ・アースの取付は据付工事店へお問合せください。 異常(こげ臭いなど)時は、電源プラグを抜くか、ブレーカを切ってお買上げの販売店へ連絡する。 ［異常のまま使用すると故障や感電、火災の原因になります。］ お湯を使うときは、湯温を指先等で確認する。［やけどをすることがあります。］ 電圧は定格電圧の±10%以内でお使いください。［火災の原因となります。］ 機器に異常が発生した場合は、ブレーカを「切」にして、配管・電気工事を行った業者に修理を依頼してください。［火災、感電、やけどや怪我の原因になります。］ 子供や身体に障がいのある人が機器操作をする場合は、監督者の管理のもと、または、安全管理者による適切な指導を受けた後に実施してください。また、子供が機器で遊ばないように十分に監督してください。 必ず電源一次側に漏電ブレーカを取付け、動作を確認してください。 ［漏電ブレーカが無いまま使用すると漏電時に感電する恐れがあります。］ 結線部は正しく、緩みがないように配線作業をしてください。［発火や、感電の原因となります。］

⚠注 意　誤った取扱いをしたときに、傷害または家屋・家財などの損害に結びつきます。

禁止	そのまま飲用しない 長期間のご使用によってタンク内に水アカがたまったり、配管材料の劣化などによって水質が変わることがあります。飲用される場合は、下記の点に注意し、必ず一度ヤカンなどで沸騰させてからにしてください。 ・必ず水道法に定められた飲料水の水質基準に適合した水道水を使用してください。 ・熱いお湯が出てくるまでの水（配管にたまっている水）は雑用水としてお使いください。 ・固形物や変色、濁り、異臭があった場合には、飲用せずに直ちに、据付工事店（販売店）へ点検を依頼してください。 電源コードを傷めない　［火災や感電、故障の原因になります。］ ・曲げる・ねじる・引っ張るなど無理な力を加えない ・コードの継ぎ足しやタコ足配線をしない（束ねたまま使用しない） ・重いものを載せない 膨張水逃しパイプをつぶしたり、折り曲げたりしない。［水漏れ、やけど、故障の原因になります。］ 膨張水逃しパイプは圧力逃し弁用の排水パイプであるため、水・お湯が出てくることがあります。 タンクの熱湯を直接、排水しない。［やけどをすることがあります。］ ・排水管などを破損することがありますのでタンク内を水にしてから排水してください。 機器に取り付けられている配管、電気部品は取付け時に外すもの以外、絶対に取り外さないでください。 ［機器が破損する恐れがあります。］ 給湯配管は鳥居配管をしないでください。［破損、故障の原因となります。］ 給湯中とその直後は高温になっておりますので、配管部分には直接触れないでください。 ［やけどの恐れがあります。］ 機器及び、配管に乗ったり、体重を掛けたり物を載せたりしないでください。 ［落ちて怪我をしたり、漏水や故障の原因となります。］
指示に従い必ず行う	本体の据付場所を確認する この湯沸器は屋内専用です。屋外や浴室など湿気の多い場所に据付けると感電や故障の原因になります。 １ヵ月以上使用しないときは、ブレーカを切ってタンクの排水をする。 ［排水しないと水質が変化することがあります。］ ［火災や予想しない事故の原因になります。］ 通電はタンクを満水にしてから行う。 ［タンクに水がない状態で通電すると、ヒーターが過熱して故障の原因になります。］ 凍結防止対策の確認をする 。［凍結するとタンクや配管が破裂しやけどや水漏れをすることがあります。］ 機器の質量に十分に耐えられる強度を持った壁面に設置してください。［落下、故障の原因となります。］ 給湯、給水接続配管は銅管、PEXチューブ、ブレードホースを使用してください。 ［漏水の原因となります。］ 設置地域の火災予防条例に則した離隔距離をとって設置してください。［壁面損傷の恐れがあります。］ 床面に防水処理を施してください。［漏水が起きた場合、大きな被害につながる恐れがあります。］ 給水、給湯の接続口を下方に向け、壁に対して平行に設置してください。 ［機器が正常に動作しなくなる恐れがあります。］

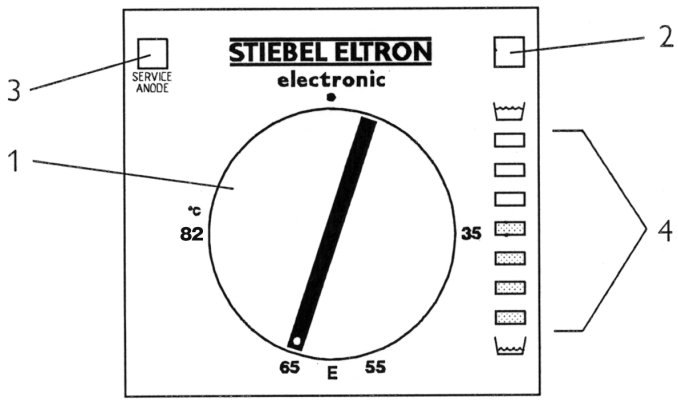
2 各部のなまえ

[本　体]



1. 電気ヒーター
2. アノード棒
3. アノード端子
4. 温水温度サーモ･過昇温防止器
5. 残湯量センサー
6. フランジ
7. 防水パッキン
8. ドレン口
9. 出湯給湯口
10. 電源取入口
11. 給水分離器
12. 缶体
13. 保温材
14. 給湯管
15. 壁金具
16. 壁金具(SH-120/150のみ)
17. 金具カバー

[操作部]



1. 貯湯温度設定ダイヤル
2. 通電ランプ
3. アノードランプ
4. 貯湯量インジケーター

3 運転のしかた

1 使用前の準備

使いはじめや水を抜いたときは次の手順で操作してください。

1.温水器のタンクを満水にします

① 元栓を全開にし、温水器のタンクに給水します。
② 混合水栓（お湯側）を開きます。
③ 満水になったら②で開いた混合水栓を閉じます。

蛇口からいきおいよく水が出てきたら満水です。

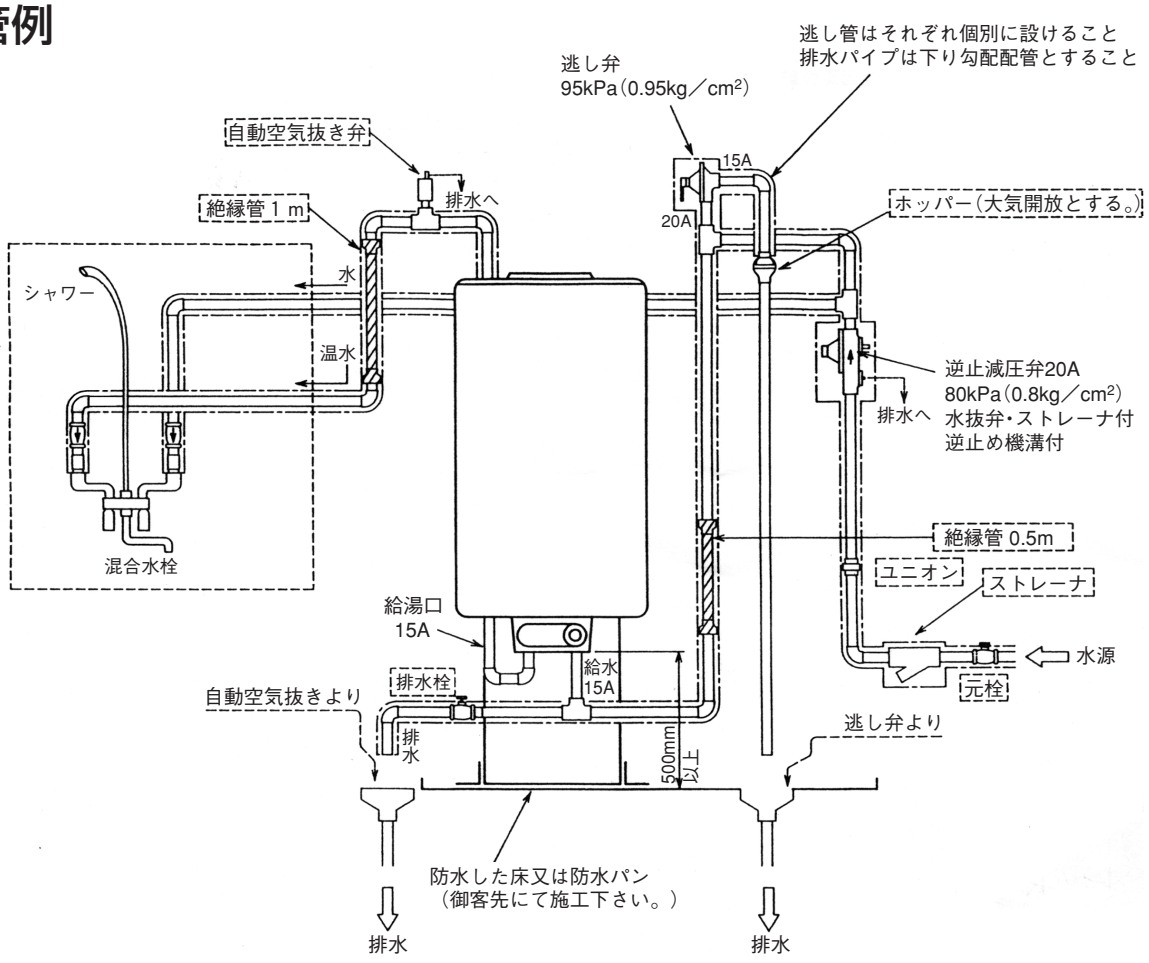
2,給湯器の電源を入れる

④ブレーカを「入」にします。
⑤貯湯温度設定ダイヤルで沸き上げ湯温を設定します。
（沸き上げ中、通電ランプが点灯します。）

⚠注意　通電はタンクを満水にしてから行う

タンクに水がない状態で通電すると、ヒーターが過熱して故障の原因になります。

配管例



2 お湯を使う

沸き上げが終わったら、お湯を使用できます。
やけど防止のため、蛇口の温度は低温側から徐々に高温側へ調節してご使用ください。

⚠警告　給湯時は蛇口に手を触れない

やけどをすることがあります。

3 凍結防止をする

冬季は本体周囲温度が０℃以下になると配管が凍結し、機器や配管が破損することがありますので、凍結防止対策が必要です。（寒冷地だけでなく暖かい地域でも凍結することがあります。）
凍結防止対策として「凍結防止ヒーターによる方法」「少量の水を流し続ける方法」などがあります。どの方法で施工されたのか据付工事店へ確認してください。また、お客さまが行う具体的な操作方法についても確認し、凍結防止の操作を行なってください。

⚠ **注意　凍結防止対策の確認をする**（やけどや水漏れの原因）

（1）凍結防止ヒーターによる方法

●凍結するおそれのある配管すべてに凍結防止ヒーターが巻かれていることを確認してください。（凍結防止ヒーターの取付けは、据付工事店にご相談ください。）
●凍結防止ヒーターの電源プラグを電源コンセントに差し込んでください。
●凍結するおそれのない季節は、安全のため凍結防止ヒーターの電源プラグをコンセントから抜いておいてください。

（2）少量の水を流し続ける方法※

配管内に水を流しながら、凍結防止をする方法です。
●電源スイッチは「入」にしておきます。
●蛇口を開き、蛇口から水が糸を引く程度に流れるよう調節してください。
※ 設定湯温まで沸き上がらない場合があります。

4 長期間使用しないとき

本体内の水は長期間放置しておくと変質する場合があります。１ヶ月以上、使用しないときは、必ず排水を行なってください。

⚠ **注意　長期間使用しないときは、タンクの排水をする（水質変化の原因）**
タンク内の熱湯を直接排水しない（やけど、排水管などの破損の原因）

① 貯湯温度設定ダイヤルを「最小」にします
② ブレーカを「切」にします
③ タンク内のお湯を水にするために、混合水栓のお湯側を開き、熱いお湯が出なくなるまでお湯を出します
※お願い　排水配管の破損を防ぐために、お湯の温度を調節して60℃以下で排水してください。
④ 熱いお湯が出なくなったら、元栓を閉じます
⑤ 排水栓を開いて（左に回す）、本体内（タンク）の水を抜きます
⑥ 排水が終わったら③で開いた混合水栓を閉じます

⚠ **警告　排水時はやけどに注意する**

※お願い　再び使用するときは、タンク内を満水にしてからブレーカを入れてください。

4 点検とお手入れ

点検項目	内　　容
逃し弁の点検 （1年に2～3回程度）	●ヒーター通電中以外（通電ランプ消灯）に膨張水逃し弁からお湯が出ていないかを確認してください。 ●ヒーター通電中（通電ランプ点灯）に膨張水逃し口からお湯が出ていることを確認してください。 ●ヒーター通電中以外（通電ランプ消灯）に逃し弁のレバーを上げ、逃し弁からお湯が出ることを確認してください。
アノードランプの確認 （1年に2～3回程度）	●アノード棒の交換が必要であることをお知らせしています。据付工事店（販売店）にご連絡ください。
配管の点検 （1年に2～3回程度）	●配管の保温材破損や水漏れがないか点検します。水漏れが生じている場合は、元栓を閉じ、ブレーカを「切」にして、据付工事店（販売店）にご連絡ください。 ※お願い　冬季に入る前には、必ず保温材のチェックを行なってください。破損している場合、配管が凍結し、本体や配管が破損することがあります。
タンクのお手入れ （1年に2～3回程度）	●以下の手順で、タンク内のお湯または水を交換してください。 ① ブレーカを「切」にする ② 排水栓を開いて、短時間（約5秒間）排水する ③ 排水栓を閉じる （手順②、③を2～3回行なってください。） ④ お手入れが終わったらタンクを満水にしてから（6ページ）、ブレーカを「入」にする ⚠**警告　排水時はやけどに注意する。**

定期点検（有料）

電気温水器を少しでも長くお使いいただくために、3～4年に1度、定期点検（有料）を行なってください。
定期点検については、据付工事店（販売店）または「日本スティーベル、営業所」（裏表紙）へご相談ください。
点検の結果、部品交換が必要なものは、有料で交換します。

●定期点検の主な内容

項　目	内　　容
据付状態	設置面、配管状態、配管その他の保温処置、電気配線などの確認
機能部品	電気部品（配線、導通、動作の確認）の点検、弁類（減圧弁、逃し弁）の点検、アノードの点検および消耗部品の交換
清　　掃	タンク内の清掃（沈殿物の除去など）

●消耗部品

減圧弁／逃し弁／ヒーターパッキン／アノード棒

※お願い　　減圧弁、逃し弁、ヒーターパッキン、アノード棒の交換時は、当社純正部品をご指定ください。
（純正部品を使わないと故障の原因となります。）

5 故障かな？と思ったら

こんなときは故障ではありません。

症　　状	原　　因
お湯から油が出る。 お湯が臭い。	初めて使用するときは、配管工事のときの油や臭いがお湯に混ざって出る場合がありますが、しばらくすると消えます。
給湯器から音がする。	沸き上がり近くになると本体内部から音が出る場合がありますがこれはお湯が沸いている音で故障ではありません。
沸き上げ中ランプが灯いたり、消えたりする。	「沸き上げ中ランプ」は、お湯の沸き上げ中に点灯し、沸き上げが完了すると消灯します。お湯を使用すると、しばらくして点灯します。

こんなときは調べてみましょう。

症　状	原　因	処　置
お湯が出ない お湯の出が悪い	元栓が閉じている	閉じていれば開いてください。
	断水している（蛇口から水がでますか？）	断水が終わるまで待ってください。
	配管が凍結している	凍結していた場合は、元栓を閉じて据付工事店（販売店）へご連絡ください。
お湯が沸かない お湯が足りない	お湯をたくさん使用した	お湯が沸き上るまでお待ちください。
	ブレーカが「切」になっている	「入」にしてください。
	設定湯温が低い	設定湯温を高くしてください。

上記にしたがって処置をしても、なお異常がある場合は、お買い上げの販売店またはお近くの日本スティーベル支社、営業所（裏表紙）へご相談ください。

6 点検および修理について

アフターサービス（点検・修理）を依頼される場合

●アフターサービスを依頼される前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ、それでも不具合があったり、あるいは不明な場合はご自分で修理なさらないで、お買い上げの販売店、取付工事店または当社支社、営業所にご連絡ください。

●アフターサービスをお申し付けの時は、次のことをお知らせください。
①型式名
②不具合のようす（たとえば、お湯が出ない）
③取付年月日（保証書をご覧ください）
④お名前、住所、電話番号

補修用性能部品の最低保有期間について

●この器具の補修用性能部品の最低保有期間は、製造打切り後7年です。なお、補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するための部品です。

保証について

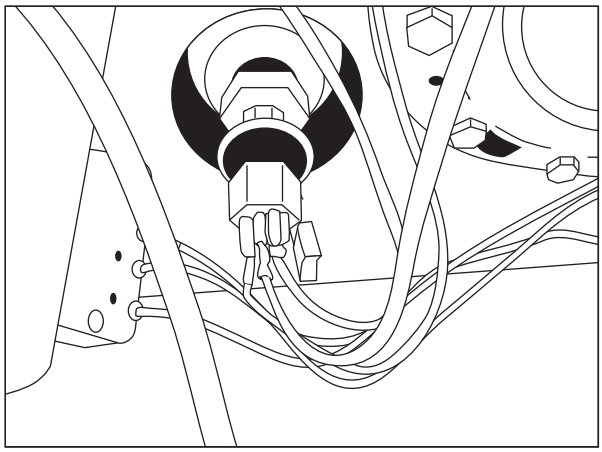
●本製品は、お取付日から1ヶ年保証です。
●保証書は、敗売店または取付工事店からお渡ししますので、かならず「販売店名か取付工事店名、取付日」などの記入をお確かめになり、保証書の内容をよくお読みのうえ大切に保管してください。
●修理を依頼される時、保証書に記載のある販売店、取付工事店または当社支社、営業所にご連絡ください。保証期間内であれば、保証書の記載内容に基づき無料修理を行います。保証期間を過ぎても、修理により製品の機能が維持できる場合には、ご要望により有料修理いたします。

7 アノード棒の交換について

取外し前準備

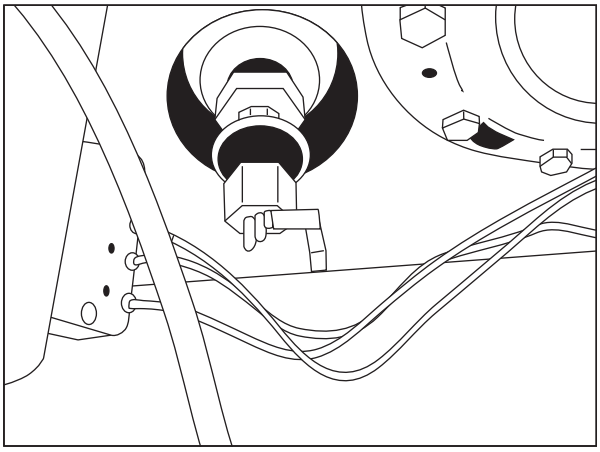
ブレーカをOFFとして、タンク内のお湯を常温（25℃）まで下げてください。
次に元栓を閉じ、排水栓を開きタンク内の全ての水抜きを行ってください。
この場合タンク内にエアーを入れないと水抜きができませんので、エアー抜き弁等を開いてください。

取外し方法



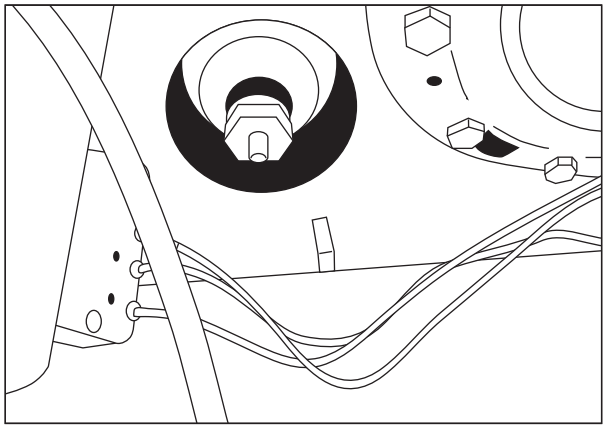
①本体の底板カバーを取外してください。

②アノード端子に接続されているファストン端子2箇所を取外します。
（後で元に戻しますので、それぞれ印を付けておいてください。）

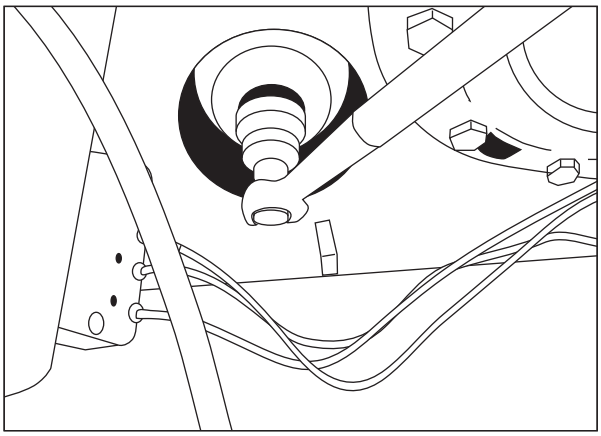


③アノード信号スイッチを左方向に回して、取外してください。

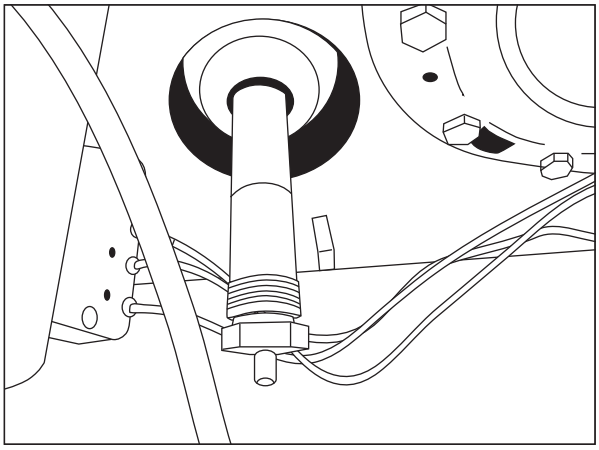
④その上部に小六角ナットがあります。
この小六角ナットも左方向に回して取外してください。



アノード信号スイッチ、小六角ナットを取外した状態です。



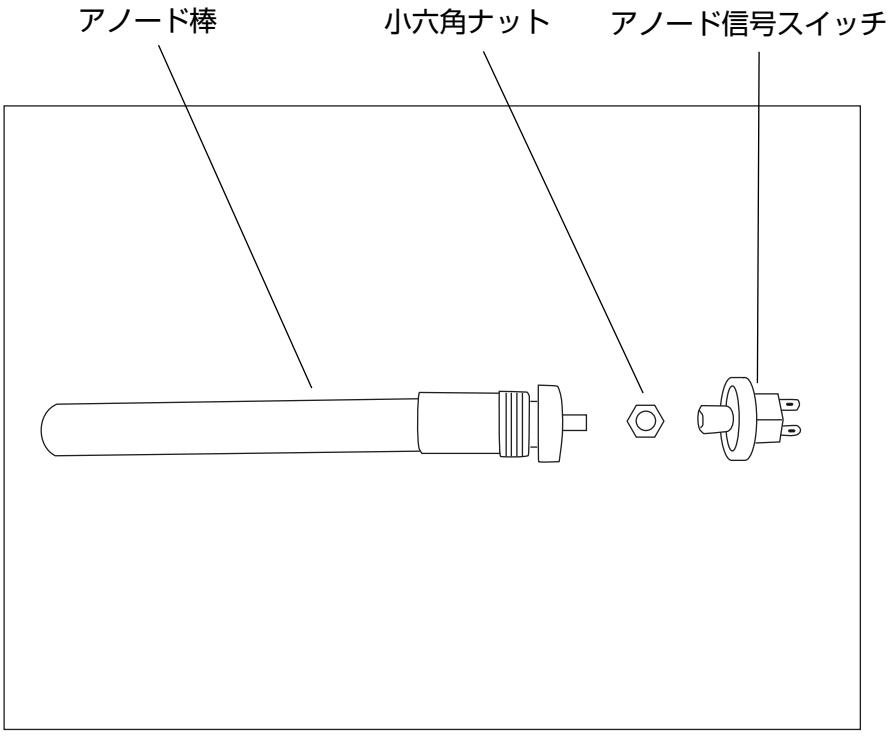
⑤アノード棒の六角（対辺27mm）を六角レンチで左方向に回して取外します。



⑥古いアノード棒を引き抜き、交換用のアノード棒を差し込み、六角レンチでねじ込みます。

ねじ込み後は小六角ナット、アノード信号スイッチ、ファストン端子を接続してください。タンクに給水したのち水漏れがないかを確認してください。

構成部品



8 仕様

型　式	SH−30S	SH−50S	SH−80S
品　番	073047	073048	073049
電源･定格	200V 1φ		
消費電力 kW	2.25/3.0		
電流値 A	11.25/15.0		
タンク容量 L	30	50	80
設定温度 ℃	82		
給水方式	先止め式		
据付方式	壁掛け式		
外形寸法 Wmm×Hmm×Dmm	410×750×410	510×720×510	510×1030×510
質量 kg	23.5	30	44
質量(満水時) kg	53.5	80	124
発熱体	シーズヒーター		
最高使用圧力 kPa	95		
通常使用圧力 kPa	80		
自動温度調節器	液膨張式		
過昇温防止器	液膨張式		
オプション部品	減圧弁／安全弁		

型　式	SH−100S	SH−120S	SH−150S
品　番	073050	073051	073052
電源･定格	200V 1φ		
消費電力 kW	2.25/3.0		
電流値 A	11.25/15.0		
タンク容量 L	100	120	150
設定温度 ℃	82		
給水方式	先止め式		
据付方式	壁掛け式		
外形寸法 Wmm×Hmm×Dmm	510×1030×510	510×1190×510	510×1425×510
質量 kg	45	50	62.5
質量(満水時) kg	145	170	212.5
発熱体	シーズヒーター		
最高使用圧力 kPa	95		
通常使用圧力 kPa	80		
自動温度調節器	液膨張式		
過昇温防止器	液膨張式		
オプション部品	減圧弁／安全弁		

●本品は、自然環境を考え、全てリサイクルが可能な素材を使用しているDIN7728に基づくリサイクルマーク表示許可商品です。

●全ての紙製品は、塩素を含まない再生紙を使用しております。したがって再々使用が可能です。

●メモされておくと便利です。

購入年月日	購入店名
年　月　日	電話　（　　）

STIEBEL ELTRON

電気温水器
取付説明書

型　名…… ●SH-30S
●SH-50S
●SH-80S
●SH-100S
●SH-120S
●SH-150S

［目　次］

1 安全の為に必ずお守りください……11
2 外形寸法図……12
3 本体の取付方法……12
4 配管工事……13
5 凍結防止対策について……13
6 電気工事……14
7 試運転……15
8 保証書……16

据付工事をされる方へ

●この製品の性能・機能を十分に発揮させ、また安全を確保するために、正しい据付工事が必要です。据付工事の前に「安全のために必ずお守りください」を必ずお読みください。
●工事後は取扱説明書とともに、お使いになるお客さまにお渡しし、保管していただくよう依頼して下さい。
●この説明書に記載されていない方法や保証書と適合しない内容で工事された場合、また指定の純正別売部品を使用せず工事された場合、事故や故障が生じたときには責任を負いかねます。

日本スティーベル株式会社

1 安全の為に必ずお守りください

●ご使用の前にこの欄を必ずお読みになり、正しく安全に取付けてください。
●お読みになった後は、取扱説明書とともにお使いになる方に使用の前にお渡しください。

⚠ 警 告　過った取扱いをしたときに、死亡や重傷に結びつく可能性があります。

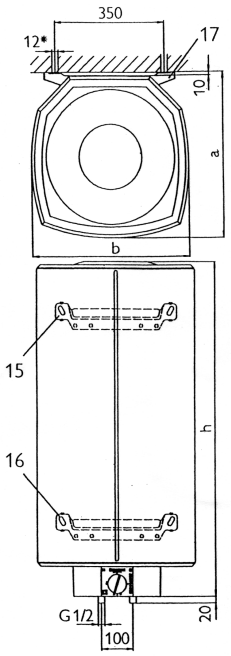
禁止	屋外に据付けない。（この給湯器は屋内専用です。）　［感電・故障の原因になります。］ 水をかけたり、水をつけたりしない。　［ショート・感電することがあります。］ 湿気の多い場所に据付けない。［浴室など湿気の多い場所に据付けると、火災・感電の原因になります。］ ガス類や引火物の近く、燃焼機具などの上、または密閉される場所には据付けない ［感電・故障の原因になります。］ 水質基準に適合した水道水以外は使用しないでください。 ［健康を害する、漏電、漏水、故障の原因となります。水道水に添加物を混ぜることも同様の危険があります。］ 濡れた手で機器を操作しないでください。［感電の恐れがあります。］ 絶対に改造はしないでください。［火災、感電、やけどや怪我の原因となります。］
指示に従い必ず行う	必ずアース工事をする。［工事に不備があると故障や漏電のときに感電することがあります。］ 据付工事には、当社指定部品を使用する。［事故・故障の原因になります。］ 上水道直結の配管工事や電気工事は、必ず指定工事業者が行う。［事故・故障の原因になります。］ 【上水道直結の配管工事】当該水道局（水道事業管理者）の認定水道工事業者が、指定された配管材料を使用して行なってください。 【電気工事】電気設備基準及び内線規程に基づいて、指定業者が行なってください。 漏電遮断器を設置する。［設置しないと漏電したとき、感電することがあります。］ 電圧は定格電圧の±10%以内でお使いください。［火災の原因となります。］ 機器に異常が発生した場合は、ブレーカを「切」にして、配管・電気工事を行った業者に修理を依頼してください。［火災、感電、やけどや怪我の原因になります。］ 子供や身体に障がいのある人が機器操作をする場合は、監督者の管理のもと、または、安全管理者による適切な指導を受けた後に実施してください。また、子供が機器で遊ばないように十分に監督してください。 必ず電源一次側に漏電ブレーカを取付け、動作を確認してください。 ［漏電ブレーカが無いまま使用すると漏電時に感電する恐れがあります。］ 結線部は正しく、緩みがないように配線作業をしてください。［発火や、感電の原因となります。］

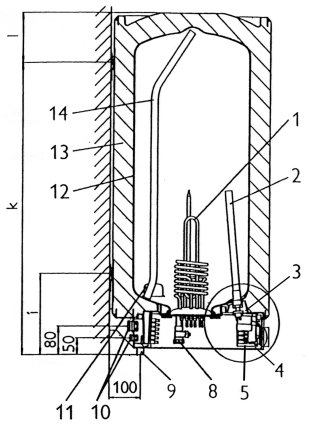
⚠注 意　誤った取扱いをしたときに、傷害または家屋・家財などの損害に結びつきます。

禁止	機器に取り付けられている配管、電気部品は取付け時に外すもの以外、絶対に取り外さないでください。 ［機器が破損する恐れがあります。］ 給湯配管は鳥居配管をしないでください。［破損、故障の原因となります。］ 給湯中とその直後は高温になっておりますので、配管部分には直接触れないでください。 ［やけどの恐れがあります。］ 機器及び、配管に乗ったり、体重を掛けたり物を載せたりしないでください。 ［落ちて怪我をしたり、漏水や故障の原因となります。］ 飲用にはしないでください。［健康を害する恐れがあります。］
指示に従い必ず行う	凍結防止対策を行う。［凍結すると、本体が破損したり、配管が破裂してやけどをすることがあります。］ 通電（試運転）はタンクを満水にしてから行う。 ［タンクに水がない状態で通電すると、ヒーターが過熱して故障の原因になります。］ 水道水を使用する。［水漏れ、故障の原因になります。］ 定格電圧を確認して使用する。　［発火・火災になることがあります。］ 工事作業中は手袋を着用する。　［金属端面によるけがや高温部接触によるやけどの原因になります。］ 本体は丈夫な壁に取付けてください。　［本体が落下してケガをすることがあります。］ 給湯、給水接続配管は銅管、PEXチューブ、ブレードホースを使用してください。 ［漏水の原因となります。］ 設置地域の火災予防条例に則した離隔距離をとって設置してください。［壁面損傷の恐れがあります。］ 床面に防水処理を施してください。［漏水が起きた場合、大きな被害につながる恐れがあります。］ 給水、給湯の接続口を下方に向け、壁に対して平行に設置してください。 ［機器が正常に動作しなくなる恐れがあります。］

2 外形寸法図

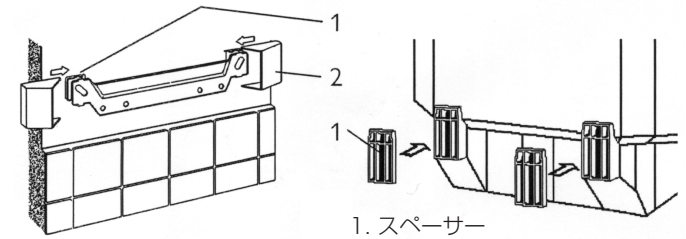
型　式	缶体容量 L	重 量 Kg	寸　法（mm）					
			a	b	h	i	K	L
SH-30S	30	23.5	420	410	750	–	700	70
SH-50S	50	30	510	510	720	–	600	140
SH-80S	80	44	510	510	1030	–	900	150
SH-100S	100	45	510	510	1030	–	900	150
SH-120S	120	50	510	510	1190	300	900	310
SH-150S	150	62.5	510	510	1425	300	1100	345





1. 電気ヒーター
2. アノード棒
3. アノード端子
4. 温水温度サーモ･過昇温防止器
5. 残湯量センサー
6. フランジ
7. 防水パッキン
8. ドレン口
9. 出湯給湯口
10. 電源取入口
11. 給水分離器
12. 缶体
13. 保温材
14. 給湯管
15. 壁金具
16. 壁金具(SH-120/150のみ)
17. 金具カバー

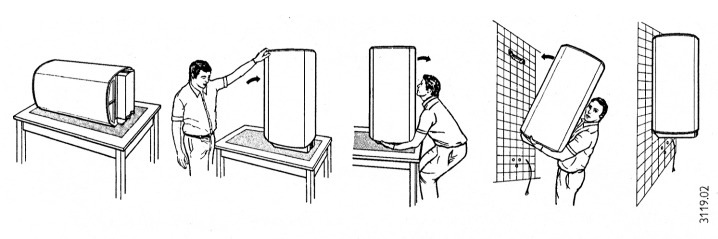
3 本体の取付方法



1. スペーサー
2. 金具カバー

1.壁と上下取付金具をねじでしっかり固定します。
※壁が平面でない場合及び配線を背面に通す場合は付属のスペーサーを使用してください。
⚠注意　本体を固定する壁面は､必ず満水時の重量に耐えうる補強を行ってください。

2.本体取付け後、金具カバーを取付けてください。



3.本体を垂直に持ち上げた後、フック部を壁に取付けて金具に掛けます。
※確実に金具が掛かっていることを確認してください。
⚠注意　本体下部の給水・出水配管に衝撃を加えないよう十分注意してください。（缶体内面のグラスライニングにヒビが入る場合があります。）

4 配管工事

①減圧弁は80kPa設定とし、取付位置は電気温水器の肩あたりに取付けて下さい。減圧弁はストレーナ、逆止弁、負圧作動機溝を備えたJISマーク表示品または日水協認証品を使用してください。

②感電事故防止のため、給水配管並びに、給湯配管に絶縁管を使用してください。

③熱膨張水（安全弁）並びに異常圧熱湯（安全弁）の排水のために、安全弁排水管は、サビ、スケールが詰まらないように配管工事（銅管、耐熱塩ビパイプ、ビニールホース）をして、凍結による詰まり、排水の逆流などがないようにホッパー及び排水管は大気開放してください。

④圧力計取付盲栓、止水栓、ユニオン継手を必ず保守点検のために、設けてください。

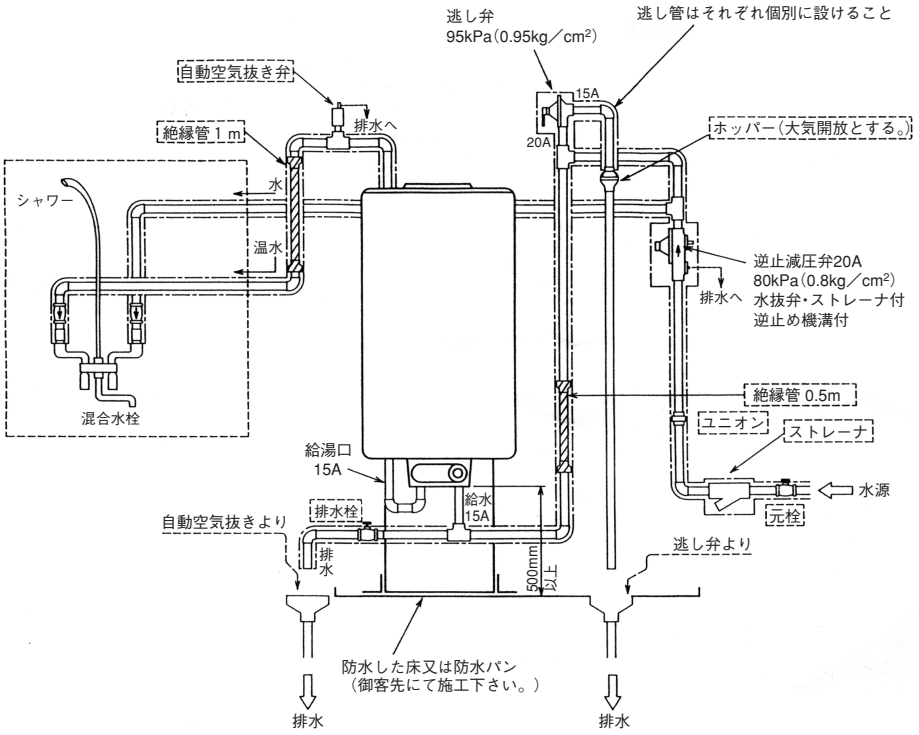
⑤シャワー用給水配管は、減圧弁の二次側より施工してください。水栓自体に水流コントロール機能がついているものはこの限りではありません。

⑥エアーがたまりやすい場合、負圧のかかるおそれがある場合は、空気抜弁、負圧弁を給湯側の電気温水器より高い位置に取付けてください。

⑦減圧弁二次側での漏水によりタンク内のお湯が逆流する恐れがありますので、電気温水器の給水側付近に逆止弁を使用してください。

⑧凍結防止のため、保温工事をしてください。

配管例



5 凍結防止対策について

冬季は本体周囲温度が０℃以下になると配管が凍結し、機器や配管が破損することがありますので、凍結防止対策が必要です。（寒冷地だけでなく暖かい地域でも凍結することがあります。）
地区事情にあった凍結防止方法を行い、お客さまに説明してください。

（１）凍結防止ヒーターによる方法

●凍結するおそれのある配管すべてに凍結防止ヒーター（市販品）を巻きます。（凍結防止ヒーターの取付けは、凍結防止ヒーターに付属の説明書をお読みください。）

●凍結防止ヒーターは何本も使用しますので、適切な位置に電源コンセントを設けてください。

●給湯管に巻く場合は、凍結防止ヒーターの耐熱性にご注意ください。

（２）保温による方法

●凍結するおそれのある配管部分に保温材を確実に巻いてください。

（３）凍結防止のため、本体の電源スイッチは「入」のままご使用ください。なお、長期間使用しない場合は、本体の電源スイッチを「切」にしてタンクの水を抜いてください。

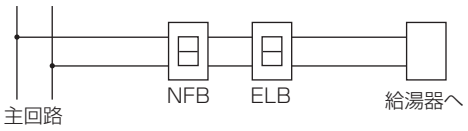
6 電気工事

電気設備に関する技術基準および電力会社の内線規定に基づき指定工事業者による施工が必要です。

（1）電源の接続

●給湯器専用配線を設けてください。

●給湯器専用電源回路には、必ず主回路の漏電遮断器（ＥＬＢ）と、ノーヒューズブレーカー（ＮＦＢ）を取付けてください。万一、漏電したり、過電流が流れた場合、他の機器に影響を及ぼさないようにしてください。



⚠警告

漏電遮断器を設置する。
設置しないと漏電したとき、感電することがあります。

アース極は、Ｄ種（第３種）接地工事（接地抵抗値100Ω以下）が確実に行なわれていることを確認してください。

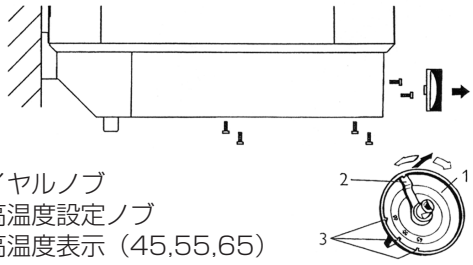
●電気工事は必ず工事資格のある方が行ってください。また電気工事は、内線規定の他、地管轄の電力会社の指示に従ってください。

●電源ケーブルの接続は、熱を持つ恐れがあるので確実に締めてください。

（2）端子カバーの取り外し

●ダイヤルノブを抜き取り、その裏側のネジ2本と底面ネジ4本を取り外した後、端子カバーを外します。

※ダイヤルノブの内側と最高温度設定と変更するノブがあります。最高温度を82℃以下と設定する場合は、ノブの位置を任意の位置と変更してください。



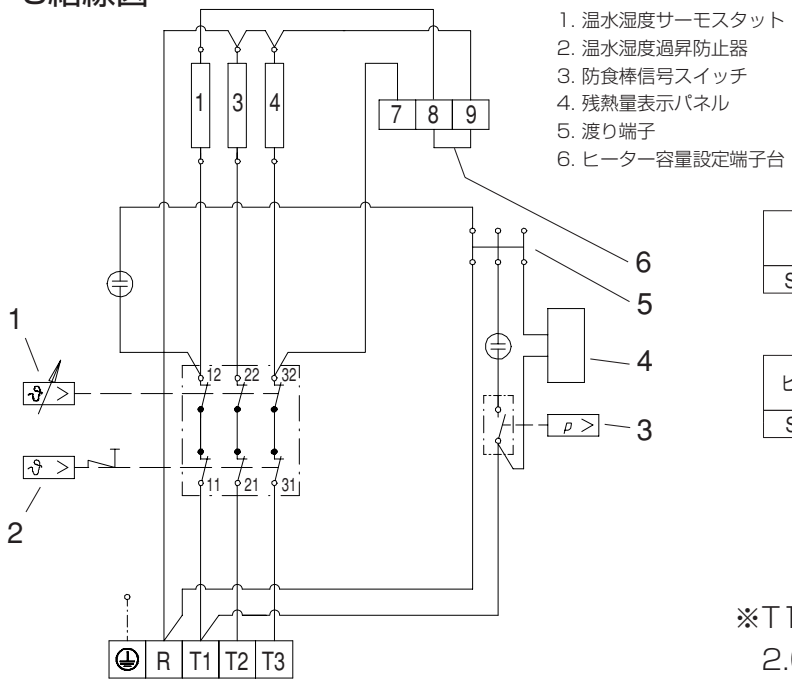
（3）通電確認

●通電確認は、給湯器のタンクが満水になっていることを確認してから行なってください。

1. ブレーカーを「入」にします。
2. 湯温設定つまみを「約82℃」側に合わせます。

上記を行なって、沸き上げ中ランプが点灯すれば正常です。

SH−S結線図



	ヒーター容量		
	1	3	4
SH−30S〜150S	2000W	2000W	2000W

ヒーター容量設定端子	7 8 9	7 8 9
SH−30S〜150S	2250W	3000W

※T1、T2の結線は現場で調達してください。
2.0mm^{2}以上を使用してください。

7 試運転

⚠**注意**　通電（試運転）は、タンクを満水にしてから行なってください。

（1）タンクを満水にします。
　①元栓を全開にし、タンクに給水します。
　②混合水栓（お湯側）を開きます。
　③満水になったら、元栓を閉じます。
　　蛇口からいきおいよく水が出てきたら満水です。

（2）配管接続の各部分から水漏れがないか十分点検します。

（3）通電の確認をします。
　④ブレーカーを「入」にします。
　⑤湯温設定つまみで沸き上げ湯温を設定します。（沸き上げ中ランプが点灯します。）

（4）沸き上げの確認をします。
　⑥通電開始後、数時間待ち、混合水栓を開きます。
　⑦蛇口からお湯が出ることを確認します。

保 証 書

本書は、下記〈無料修理規定〉に基づいて無料修理を行うことをお約束するものです。お取付日から1年以内に故障が発生した場合は本書をご提示の上、販売店、工事店または当社に修理をご依頼ください。

お客様	フリガナ	
	お名前　　様	
お取付店名	印 〒　　電話（　　）　-	扱者 印
お取付日	年　　月　　日	

品番	SH−30S／50S／80S／ 100S／120S／150S	
保証期間	本　体	お取付日から1ヶ年

★お客様へ

この保証書をお受けとりになるときは、お取付年月日、お取付店名、扱者印が記入してあることを確認してください。保証書は再発行いたしませんので大切に保管してください。

この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがってこの保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

（無料修理規定）

1．取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った正常な使用状態で故障した場合には、表記期間無料修理いたします。
2．保証期間内に故障して無料修理を受ける場合には、販売店、工事店、または当社にご依頼の上、修理をお受けになる時に本書をご提示ください。
3．ご転居等、取付場所を移動する場合は予め取付店にご相談ください。
4．保証期間内でも次の場合は有料修理となります。
   （A）使用上の不注意、過失による不具合及び不当な修理や改造による故障や損傷の場合。
   （B）お取付後の移設及び取付説明書に基づいた取付がなされてなかったことに起因する故障、及び損傷の場合。
   （C）火災・地震・水害・落雷・その他の天災地変、公害やガス害（硫化水素ガス）・塩害・異常電圧による故障及び損傷の場合。
   （D）指定外の電源（電圧・周波数）で使用した場合の故障や損傷
   （E）一般の建物以外（例えば車輌・船舶・粉塵やガスの浮遊する施設）等で使用された場合の故障や損傷。
   （F）砂やごみ及びほこり等による不具合、故障、損傷があった場合。
   （G）本書の提示が無い場合、お客様名、お取付店名、お取付日の記入の無い場合、あるいは字句を書き替えられた場合。
5．本書は日本国内においてのみ有効です。
6．本書は再発行いたしませんので大切に保管してください。

サービス記録

年　月　日	サービス内容	担当者

STIEBEL ELTRON 日本スティーベル株式会社

STIEBEL ELTRON 日本スティーベル株式会社

日本スティーベルお客さまセンター
フリーダイヤル
0120-146-497（固定電話のみ）
●携帯・ＰＨＳの場合 …… ☎022-727-5238

〒212-0013 神奈川県川崎市幸区堀川町66-2 興和川崎西口ビル８Ｆ
ホームページ　http://www.nihonstiebel.co.jp

■製造者
スティーベルエルトロン

本書は環境保護のためリサイクルペーパーを利用しております。

T4021001
20110909F